

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：地域振興対策費

事業名 清流の国ぎふ推進補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 地域振興課 地域振興係

電話番号：058-272-1111 (内 2058)

E-mail：c11143@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 280,000 千円 (前年度予算額：300,000 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	300,000	0	0	0	0	0	0	0	300,000
要求額	280,000	0	0	0	0	0	0	0	280,000
決定額	250,000	0	0	0	0	0	0	0	250,000

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

地域資源を活かしたまちづくりや、世界遺産を含めた地域固有の歴史資源、文化財を軸とした魅力づくりなど、市町村等が自立的発展を目指して自ら考え自ら行う「清流の国ぎふ」づくりを補助金により支援する。

令和元年度には、「『世界に誇る遺産』保全・活用促進補助金」と統合し、柔軟な運用を図るとともに、人口減少や高齢化が進む地域において暮らしに必要な各種サービスや機能の集約・再編、人材確保などに一体的に取り組む市町村を支援するため、「地域づくり総合支援事業」を創設した。

また、令和2年度には、国際社会の共通目標である「持続可能な開発目標 (SDGs)」を推進するため、市民等へのSDGsの理解を醸成する取組や経済・社会・環境の三側面における新たな価値創出を通して、持続可能な地域づくりに寄与する取組を行う市町村を支援する「SDGs推進事業」を創設した。

<事業メニュー>

- ①清流の国ぎふづくり推進事業
- ②SDGs推進事業
- ③交流人口拡大事業
- ④歴史・文化を活かした地域の魅力向上事業
- ⑤地域づくり総合支援事業
- ⑥市町村振興事業 (県事務所長裁量分)

(2) 事業内容

【補助事業者】市町村等

【補助率】1 / 2以内（ただし、②、③、④、⑤については、知事が特に必要と認める場合は2 / 3以内）

【補助限度額】①、②、⑤：1,000万円

③、④：2,000万円

⑥：200万円

【補助対象事業】

① 市町村が策定する「創生総合戦略」に基づく事業

② 市町村が策定する「創生総合戦略」に基づき、SDGsの理念に沿った取組により新たな価値を創出し、持続可能な地域づくりを進める事業

③ 清流の国ぎふ2020プロジェクトの取組みをさらに発展させ、交流人口の拡大、地域経済の活性化等に資する、基盤または施設整備事業

④ 世界遺産等、または、地域固有の歴史資源等を活かした地域の魅力づくり、人材育成等を継続・発展させる事業

⑤ 人口減少・高齢化が進む地域において、暮らしに必要な各種サービスの提供や機能の集約・再編、人材確保など一体的に取り組む事業

⑥ 他市町村の模範となる先導的・個性的な地域づくり事業

(3) 県負担・補助率の考え方

補助率は、統合・メニュー化前の旧補助事業と同等の率を設定。

(4) 類似事業の有無 有

【類似事業】「清流の国ぎふ」観光回廊づくり推進事業費補助金

同補助金は、広域的な連携・役割分担に基づく事業や県内の主要な観光資源の誘客強化に向けた誘客事業、施設整備事業に限定。

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	280,000 千円	① 清流の国ぎふづくり推進事業 ② SDGs推進事業 ③ 交流人口拡大事業 ④ 歴史・文化を活かした地域の魅力向上事業 ⑤ 地域づくり総合支援事業 ⑥ 市町村振興事業

決定額の考え方

これまでの執行実績を踏まえ、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

2 健やかで安らかな地域づくり（地域づくり総合支援事業）

3 地域にあふれる魅力と活力づくり（交流人口拡大事業、歴史・文化を活かした地域の魅力向上事業）

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	清流の国ぎふ推進補助金
補助事業者（団体）	市町村、一部事務組合、広域連合、民間団体等 （理由）市町村等が自立的発展を目指して自ら考え行う事業を支援するため
補助事業の概要	（目的）「清流の国ぎふ」づくりの全県的な推進 （内容）市町村等が取組む地域の魅力づくりなど、「清流の国ぎふ」づくりの取組みを支援
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 （内容）1 / 2 以内他 （理由）補助事業者の主体性を損なわない範囲で最大の補助を行うため
補助効果	地域の魅力向上等、「清流の国ぎふ」づくりの全県的な展開が促進される
終期の設定	終期 令和4年度 （理由）事業開始から5年目となるため

（事業目標）

<p>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>ぎふ清流国体・ぎふ清流大会の成果を一過性のものとせず、市町村等による地域振興事業を支援し、みんなが主役の「清流の国ぎふ」づくりの全県的な展開を図る。</p>

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 （-年度末）	目標 （-年度末）	目標 （終期）

○指標を設定することができない場合の理由

<p>市町村等が地域の自立的発展を目指して自ら考え自ら行う事業のうち、「意欲的・創造的で他市町村等の模範となる先導的で特色ある事業」等に補助することから、数値では指標を設定できない。</p>

（前年度の成果）

<p>地域への誇りや愛着を醸成する取組み、地域の特性を活かしたまちづくり、新たな魅力の発掘などの取組みがなされた。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 「清流の国ぎふ」の全県的な展開を図るためには、継続して市町村に積極的な活用を促す必要がある。</p>

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い</p>	
(評価) ○	「清流の国ぎふ」づくりの全県的な展開」という目的を達成するためには、県の関与が必要である。
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の効果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</p>	
(評価) ○	当該補助金に対する市町村等の実施要望(R1)は、次のとおり関心が高い状況にあることから、事業の有効性は高い。 ・清流の国ぎふ推進補助金総額：130%（予算額に対する要望額） うち清流の国ぎふづくり推進事業：150%（同上） うち同事業（交流人口拡大事業）：89%（同上） うち同事業（歴史・文化を活かした地域の魅力向上事業）202%（同上） うち地方創生モデル事業：15%（同上） うち地域づくり総合支援事業：29%（同上） うち市町村振興事業（本庁協議分・県事務所裁量分）：164%（同上）
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある</p>	
(評価) ○	既存補助事業の統合・メニュー化に併せて、他市町村の模範となる先導的・個性的な地域づくりに取り組む市町村振興事業をより一層効率的かつ効果的に実施するために、従来の本庁執行から地域の実情に精通している県事務所に執行方法を見直している。

(事業の見直し検討)

<p>引き続き市町村の取り組みを支援することで、「清流の国ぎふ」づくりを推進していく。 「平成29年度事務事業の見直し方針」に基づき、過去の実績を踏まえ、適正な予算規模に見直しを行っている。（縮減額：70,000千円） 加えて今年度は、事業区分を見直しを行い、事務事業の効率化を図る。</p>
--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

<p>継続・削減・統合・廃止</p>
(理由) 市町村等による地域振興事業を支援し、みんなが主役の「清流の国ぎふ」づくりの全県的な展開を図るためには、継続的な支援が必要である。

